

《住民と議会と語る会》

定住促進は一戸

全共に向けての取り組み強化

Q：昨年、牛の全国共進会で鹿児島県が日本一になった。3年後本県で開催されるが本町での取り組みはどのようになっているか。

A：農家の飼養管理技術の向上を図ることが喫緊の課題である。そのために、1月に前回の宮城全共で活躍した優れた技能を有する畜産技師を招いて次代を担う若手農家等を対象とした研修会を行う予定である。

また、2月の畜産振興大会においても、同様の研修を行う予定である。

今後とも、このような畜産技師を町内に招いての研修会の開催や県内外の先進地へ出向き研修を行っていくことで飼養管理技術の向上を図っていく。

町民体育祭

Q：町民体育祭は祭りであると思うが、祭りが体育大会になっており、分館によっては選手選考に苦慮している。運営を

もっと工夫すべきではないか。

A：体育部長会や公民分館長会で検討する。

有害鳥獣対策

Q：鳥獣被害について、町は自己防衛をと言われるが、銃猟禁止区域もあり被害が止まらない状況であるがどう考えるか。

A：鉄砲や箱ワナをしているがなかなかである。

イノシシ等の有害鳥獣対策については、農作物等への被害軽減対策として猟友会にお願いしている捕獲と、有害鳥獣電気柵等設置事業補助金を活用した侵入防止対策がある。

有害鳥獣対策は、被害の現状や対策について、地域住民みんなで認識し、『守れる田畑、守れる集落』に向けて、地域ぐるみで対策を講じていくことが重要である。

町政報告会の開催要請

Q：担当課長が出席する町政報告会を実施すべきだが。

A：町政報告会の要望があったこ

とをつないでおく。



持留会場の様子

中沖地区

グラウンドの草刈

Q：グラウンドの草刈は年何回か。また、最近作業が雑に見える。完成検査などもすべきだと思いがどうか。

A：草刈は、年8回実施し、災害等の場合は別途実施している。また、作業後の確認については、担当課で行うようつないでおく。

議会傍聴

Q：議会傍聴は何名くらいの方が来られるのか。また、傍聴席